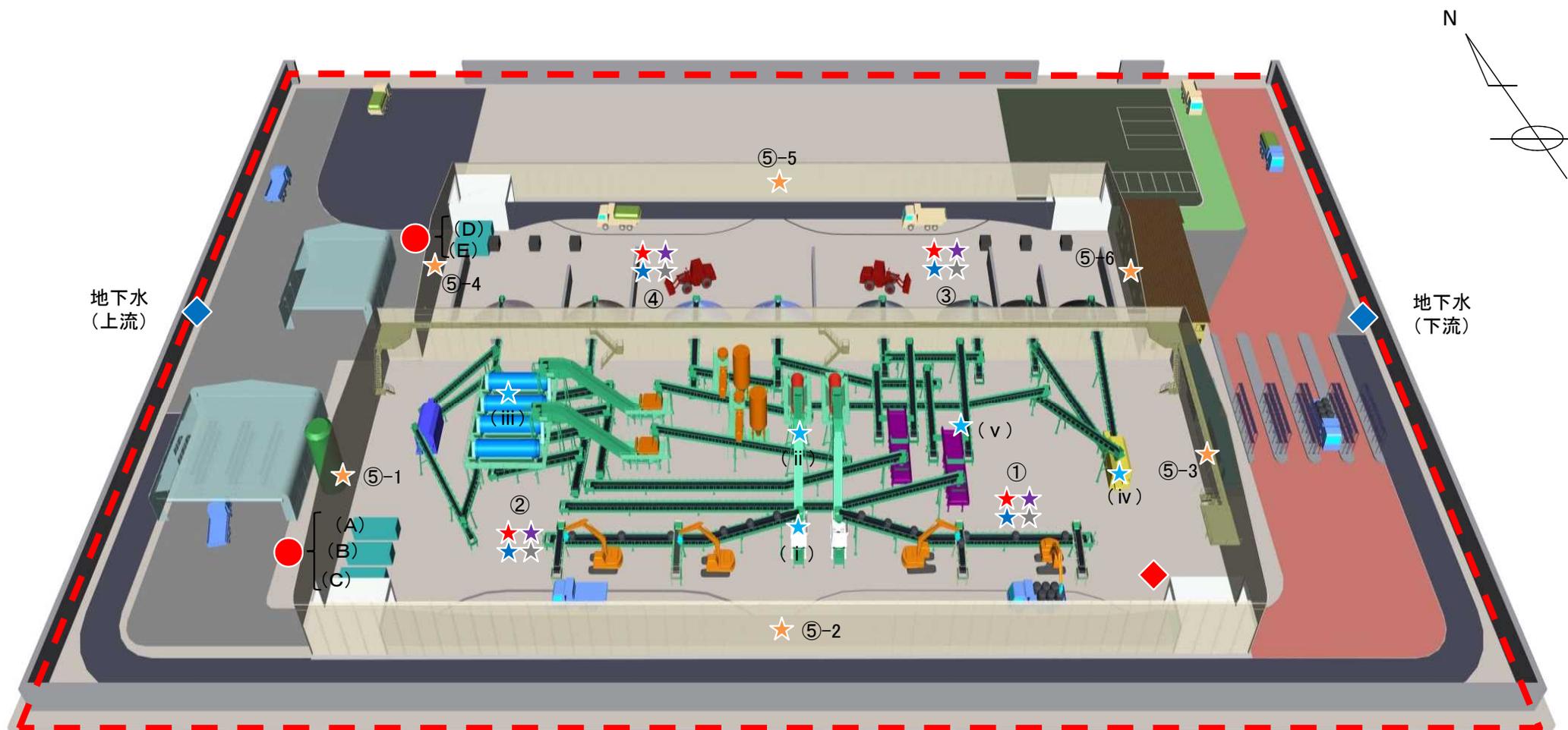


受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



凡例

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度 | ◆ : 排水中の放射能濃度 |
| ★ : 粉じん濃度 | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度 |
| ★ : 表面汚染密度(床) | ★ : 表面汚染密度(壁) | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線 | | |

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年3月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2019/3/7	(稼働後)	88	130	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2019/3/7	(稼働後)	53	60	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/3/14 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.10 Bq/m³、ドレン部：0.31 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/3/14 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	1.2
②受入 西	2.6
③搬出 東	0.4
④搬出 西	0.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/3/14 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.07
②受入 西	0.07
③搬出 東	0.06
④搬出 西	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/14 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND
②受入 西	ND
③搬出 東	ND
④搬出 西	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/3/7 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.72 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2019/2/7	(稼働後)	74	79	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2019/2/7	(稼働後)	50	97	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/2/4 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.10 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/2/6 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	1.0
②受入 西	1.9
③搬出 東	0.2
④搬出 西	0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/6 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.07
②受入 西	0.07
③搬出 東	0.06
④搬出 西	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/6 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND
②受入 西	ND
③搬出 東	ND
④搬出 西	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/2/7 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年1月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2019/1/10	(稼働後)	79	65	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2019/1/10	(稼働後)	49	94	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/1/17,31
		(稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/1/23
	(稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	1.0
②受入 西	2.6
③搬出 東	0.2
④搬出 西	0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/1/23
	(稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.07
②受入 西	0.07
③搬出 東	0.06
④搬出 西	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/1/23
	(稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND
②受入 西	ND
③搬出 東	ND
④搬出 西	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/1/9
		(稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.72 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年12月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2018/12/6	(稼働後)	94	48	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2018/12/6	(稼働後)	48	57	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/12/3 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.05 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2018/12/14 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.9
②	3.4
③	0.3
④	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/12/14 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.07
②	0.07
③	0.06
④	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/12/14 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/12/7 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年11月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2018/11/1	(稼働後)	75	55	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2018/11/1	(稼働後)	47	66	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/11/1 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.05 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2018/11/5 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.8
②	4.0
③	0.3
④	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/11/5 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.07
②	0.07
③	0.06
④	0.10

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/11/5 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/11/7 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.68 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年10月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2018/10/4	(稼働後)	57	13	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2018/10/4	(稼働後)	38	27	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/10/1 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.05 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2018/10/9 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①	1.1
②	2.6
③	0.4
④	0.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/10/9 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.07
②	0.07
③	0.06
④	0.10

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/10/9 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/10/9 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年9月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2018/9/6	(稼働後)	88	24	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2018/9/6	(稼働後)	53	86	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/9/3 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.05 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2018/9/7 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.6
②	1.6
③	0.4
④	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/9/7 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.06
②	0.07
③	0.06
④	0.06

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/9/7 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/9/7 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年8月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2018/8/2	(稼働後)	82	54	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2018/8/2	(稼働後)	36	37	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/8/1 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.07 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2018/8/3 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①	1.0
②	2.4
③	0.4
④	0.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/8/3 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.06
②	0.07
③	0.06
④	0.11

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/8/3 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/8/7 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.66 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年7月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2018/7/5	(稼働後)	78	82	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2018/7/5	(稼働後)	50	86	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/7/2
		(稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.07 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2018/7/6
	(稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.9
②	1.7
③	0.3
④	0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/6
	(稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.06
②	0.07
③	0.06
④	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/6
	(稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/7/7	
	(稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.69 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年6月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2017/6/1 (稼働前)		46	54	ND
	2018/6/7 (稼働後)		70	70	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)		49	30	ND
	2018/6/7 (稼働後)		35	43	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/6/4 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.07 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

★粉じん濃度

測定地点	2018/6/27 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.25
②	0.07
③	0.11
④	0.06

定量下限値：0.01mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/6/27 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.06
②	0.07
③	0.06
④	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/6/27 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/6/7 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i)破袋設備	ND
	(ii)一次分別設備	ND
	(iii)二次分別設備	ND
	(iv)可燃物分離設備	ND
	(v)濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.69 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年5月

◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率	塩化物イオン濃度	放射能濃度
			(mS/m)	(mg/L)	(Bq/L)
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2018/5/2	(稼働後)	70	82	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2018/5/2	(稼働後)	55	110	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90 \leq 1

● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/5/14
		(稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.07 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30 \leq 1

★ 粉じん濃度

測定地点	2018/5/18
	(稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.86
②	2.52
③	0.26
④	0.28

定量下限値：0.01mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★ 空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/5/18
	(稼働後) 空間線量率 (μ Sv/h)
①	0.06
②	0.06
③	0.08
④	0.08

★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2018/5/18
	(稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 $\times 10^{-7}$ Bq/cm³、セシウム137：5.0 $\times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} \leq 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/5/7	
	(稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i)破袋設備	ND
	(ii)一次分別設備	ND
	(iii)二次分別設備	ND
	(iv)可燃物分離設備	ND
	(v)濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(1期双葉工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年4月

◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2018/4/5 (稼働後)	70	86	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2018/4/5 (稼働後)	54	80	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/4/9 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.07 Bq/m³、ドレン部：0.2 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

★ 粉じん濃度

測定地点	2018/4/16 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.38
②	0.67
③	0.27
④	0.40

定量下限値：0.01mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★ 空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/4/16 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.15
②	0.13
③	0.11
④	0.12

★ 空気中の放射能濃度

測定地点	2018/4/16 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/4/7 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i)破袋設備	ND
	(ii)一次分別設備	ND
	(iii)二次分別設備	ND
	(iv)可燃物分離設備	ND
	(v)濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.73 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²